

関西支部第12回学生研究論文発表会の開催報告

関西支部運営委員 森田裕之（もりた ひろゆき）
大阪府立大学

毎年恒例となりました関西支部主催の第12回学生論文発表会を、去る2017年3月4日（土）に、大阪府立大学なんばサテライト教室において開催いたしました。この発表会は、経営情報関連の研究を行っている学部、修士・博士前期課程、ならびに博士後期課程の学生に、勉強・研究の成果を発表する機会を与え、質疑応答を通じてよりよい研究へと発展させるための一助とし、優秀な発表を選定して表彰することにより、経営情報関連分野の研究・教育の発展に資することを目的に開催しております。今回は卒業論文1件、修士論文6件、博士論文1件の推薦があり、当日発表いただいた発表者とタイトルは以下の通りでした。

発表者の氏名とタイトル

卒業論文の部

国本梨子（大阪府立大学現代システム科学域知識情報システム学類） ファッション・コーディネートデータの特徴的なパターンを利用したPV予測モデルに関する研究

修士論文の部

近藤 凌（千葉工業大学大学院社会システム科学研究科マネジメント工学専攻修士課程）
--

モバイルサービスを考慮したインターネットアクセスサービスの需要推定法の研究

田中健一郎（兵庫県立大学応用情報科学研究科博士前期課程）

ハザードマップの情報品質を高めるWebアプリケーションの開発

丁 静茹（東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科食品流通安全管理専攻）

大連におけるトレーサビリティ付き牛乳の許容価格

鄧 時韻（兵庫県立大学応用情報科学研究科博士前期課程）

わが国自治体におけるオープンデータ化の現状と課題

李 慧蛟（兵庫県立大学応用情報科学研究科博士前期課程）

コンジョイント分析による自治体からの住民向け情報のソーシャルメディアによる発信の効果の評価

賈 慧玲（兵庫県立大学応用情報科学研究科博士前期課程）

東日本大震災後の住民の防災意識の変化と現状—防災に関する過去4回の調査データに基づいて—
--

博士論文の部

西口真央（大阪府立大学大学院経済学研究科）

必須コントラストパターンを利用した分類モデルに関する研究



図1 当日の発表の様子

発表時間は、学部の学生は1人あたり発表10分質疑5分、修士の学生は1人あたり発表15分質疑10分と定めて、研究内容についてのプレゼンテーションと活発な質疑応答を行いました。また、各発表者には、事前に研究内容の予稿を4ページで作成していただき、予稿集を発行いたしました。



図2 表彰式の様子

今回は、卒業論文と博士論文がそれぞれ1件だったため、各部門での表彰が難しく、全体として最優秀論文賞と努力賞を表彰することとしました。厳正なる審査の結果、総合的に発表内容も含めて特に優れていたとして、西口真央君に最優秀論文賞を、また努力賞を丁静茹さんに授与いたしました。



図3 当日受賞者を囲んでの記念写真

参加者は、学生、教員、企業の方など幅広く、合計29名に参加いただき、発表会終了後は場所を変え、発表者とさらに深い議論を行うことができました。次回も第13回の学生研究論文発表会を開催予定ですので、全国から多数のエントリーをいただけるよう、お待ちしております。